

# 廃材の記憶をつむぐ ～解体リノベーション～

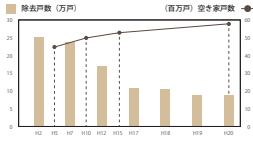
解体で生まれる廃材で、ヒトをつなぎ、記憶をつむぐ。  
 そんなリノベーションビジネスの提案です。  
 空き家の増加は、多くの問題を惹起しています。  
 果たして、全ての空き家はリノベーションによって救われるのか？

リノベーションによって救われない空き家はどうか？  
 振り回れば、空き家には住み手の豊かな記憶が眠っています。  
 解体からはじまる、新たな物語。  
 本提案は「解体」のリノベーションです。

## 0 発想の原点

### 空き家戸数増加と解体戸数減少

全国の空き家戸数増加は、まちの安全性や防犯といった居住快適性、経済活動停滞など多くの問題を孕んでいます。  
 空き家戸数増加一方で、除去（解体）戸数は減少しており、まちの新陳代謝を阻害しています。



### 解体が進まない要因と解決策

解体にはおおよそ100万円の費用がかかり、解体が進まない一因には空き家所有者や行政の資金不足があります。  
 そこで、解体から利益を生みだし、解体による所有者の負担を軽減（除去）すれば、空き家解体が進み、空き家問題の解決につながるかと考えました。



### 各地に点在する廃材活用事業者の存在

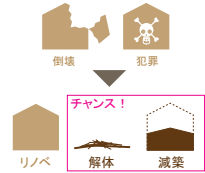
廃材を活用してワークショップを開催するデザイン事務所やアート作品を創るアーティスト、廃材を独自に使う工務店や家具製作所などが各地に存在します。ただし、こういった活動は狭い範囲内で行われていなかったり、ビジネスとは切り離されたところがあったりします。こういった活動があるため、廃材の需要があるにもかかわらず、継続的にお金が生まれるシステムは存在していません。



## 1 コンcept

### 解体リノベーションの趣旨

廃材コミュニティウェブサイト『scrapstudio』を開発します。  
 解体から生まれたモノ（廃材）でビジネスを展開し、空き家問題をチャンスに転じる契機とします。



### scrapstudio サイトの5つのコンテンツ

『scrapstudio』サイトは主に5つのコンテンツで構成され、それらコンテンツにより廃材を市場に流通させ、利益を生み出します。

- ① 廃材売買  
古材、建具、家具などの廃材を直接販売
- ② 廃材プロダクト提案・受注  
廃材等を利用したプロダクトを提案・販売
- ③ 廃材活用支援  
施工方法、廃材活用DIYの支援や事例を紹介
- ④ 廃材活用事業者ネットワーク構築  
廃材活用事業者で繋いで地域や廃材品を充実
- ⑤ 廃材愛好家ファンページ  
廃材愛好家のコミュニティを立ち上げ輪をつくる

### 低リスクなビジネススキーム

解体リノベーションビジネスは、人とお金、人とモノ（廃材）をつなぐことであり、自身で倉庫などの大規模な土地を必要とせず低リスクで始められます。主な収益源は仲介手数料（一部規程料）、設計料、プロダクトです。

- ① 場をつくる  
ウェブサイト『scrapstudio』を立ち上げる
- ② 人をつなぐ  
全国の廃材活用事業者や廃材の情報を発信
- ③ 場を育てる  
『scrapstudio』のコンテンツを充実させる

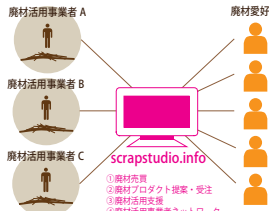
## 2 生み出す価値

### 解体リノベーションによって生まれる価値

廃材・古材の愛好家  
 廃材ストックを独自で抱えている廃材活用事業者

全国に散在する、それら豊富な潜在力をつなぎ、解き放つ場づくり。それが『scrapstudio』が担う役割です。  
 青森の〇〇家から出た廃材が、鳥取の△△家で仕上げ材として流る。  
 熊本の〇〇家の古い建具が、高知の□□家で再び使われる。  
 これまで知ることもなく出会うこともなかった人々、人とモノ（廃材）が『scrapstudio』の登場によりつながっていきます。

『scrapstudio』は、モノにより、人をつなぎ、記憶を紡ぎます。



scrapstudio でつながるモノとヒト、そして記憶

## 3 二次的効果

### 解体リノベーションがもたらす二次的経済効果

scrapstudio により廃材に価値が生まれると、そこから二次的な経済効果が派生して生まれます。

#### 地方の仕事／職を創出

廃材を再利用するためには丁寧に家庭を解体する必要があります。そのため、通常の解体より人手が必要になります。さらに、解体材の加工や出荷にも人手が必要になります。これは地方の仕事や職の創出につながります。

【完全失業者数：272万人】  
 2013年8月時点

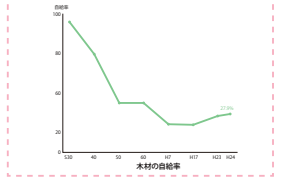
#### 中古住宅の価値向上

日本の中古住宅は約20年で不動産価値を失います。しかし、廃材に新たな価値を持たせることができれば、中古住宅に違った魅力や価値を付与することが可能になります。それは中古住宅の価値向上につながり、立地性などの外的要因に左右されない新しい中古住宅の査定方法です。



#### 国産材／国産品の流通増加

国産材は外材や（木に似せた）模倣品に押され流通量は昔と比較して確実に減少しています。しかし、廃材に価値が生まれれば美観性に優れ、時間の経過とともに味が深まる国産材の流通量が増加します。これは環境問題へもつながる二次的な効果です。また、ドアや窓などの建具も将来の価値向上を見越して安い工業製品ではなく、国内で生産される。さらには職人が製作した製品（作品）の需要が増加します。これは技術の伝承にもつながる効果です。



“scrapstudio.info” にアクセスしていただければ実際にご覧頂けます。 scrap studio

scrapstudio.info

WIRE2 nendo 豊実東京 firestorage ReaTokyoEstate openA Prezi SayMove! YouTube All About Google Ustream CINI Articles toolbox アップル iCloud Facebook Twitter Yahoo! JAPAN

解体現場レポート

中古住宅や廃材にはネガティブな印象が付きまといまいます。このコンテンツでは家主からのヒアリングを交えた住宅の歴史を紹介したり、手廻りを通じた解体の現場をレポートしたり、解体途中に出てきた材料や建具を紹介します。そうすることで、廃材への偏見を払拭し、ニーズを生み出します。さらに、材料そのものだけでなく住宅の歴史に共感したひとと材料を購入する様になります。

販売

プロダクト

活用支援

イベント情報

ネットワーク

採用情報

会社情報

神戸の洋館付加住宅 解体！

8月23日(金)～9月9日(月)

和風住宅に洋風の外観を施したこの「洋館付加住宅」。

2つ世代に住み継がれ、60年もの間家族を見つめてきました。洋館部分ではご夫人が絵画の教室をひらいていました。住宅全体に漂っていた上品な雰囲気も古材から感じとっていただけたら嬉しいです。

古木

硝子

廃材DIY講座

採用情報

全国的採用情報を掲載

ネットワークの拡大

Story (シート最下部)へ

### Story -プロダクト購入までのプロセス-

I

あるところに、一軒の空き家がありました。

II

空き家は解体され、生まれ変わるその日まで、とある事業者のストックヤードで眠ります。

III

広告デザイナーの彼女は、自分のお部屋に古い味のあるチェストが欲しいと思いました。買おうか？自分で作るうか？scrapstudio.info にアクセスします。

IV

あの廃材とあの廃材を組み合わせれば。。。自分だけのチェストをつくってみよう！

V

作り方もサポートしてくれるから安心。物語を紡いだ、私だけの家具のできあがり。